

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部市民生活課	直通電話	72-3191	事業コード	207030202	課内	29	作成日	平成15年8月20日
		担当者	一ノ瀬 隆	担当課長	伊藤清	担当部長	吉田保雄		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	暴力追放運動推進協議会補助事業	開始年度	H6	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 2070302 大項目 / 小項目 / 細項目 交通安全・防犯の充実 / 防犯対策の充実 / 防犯意識の高揚				
3) 個別計画での位置付け					

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	悪質巧妙化する暴力犯罪や少年による凶悪犯罪など市民生活に大きな不安や脅威のないすみよいまちづくりを目指すため、大型店舗前での街頭啓発、パレード等を実施する。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	住みよい石狩市を築くため、少年犯罪を含む暴力団の不当な行為許さず、社会から排除する運動を盛り上げる。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	次の活動を行っている石狩市暴力追放運動推進協議会に対し、その活動の一部を補助する。 市民に対する暴力追放の呼びかけ(街頭啓発、暴追パレード)。 意識の高揚を図るため、ポスター及び資料の配布。 市内遊戯場の巡回啓発の実施。 石狩市広報紙の折込みなどにより暴力追放の機運を盛り上げる。(年1回実施) 事務局は市役所内にある。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	道内における暴力団員は、暴力団対策法施行以来減少傾向にあったが、昨年から一転して増加傾向にあり、現在121団体、4100名あり、市内においても20数名を把握しているところである。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項 目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	100	100	100	90	暴力追放運動推進協議会補助金	100	
2) その他の間接経費(千円)							
3) 従事正職員の人件費(千円)	658	664	659				
総事業費(1~3の合計;千円)	758	764	759			H14主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	758	764	759				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	14	14	14				
事務に従事した正職員のべ人数	0.08人	0.08人	0.08人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
街頭啓発参加人数(人)	目標値	60	60	60	目標値は前年度実績値とした (参加人員 × 2回)
	実績値	60	60	60	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
協議会加入人数(人)	目標値	未設定	60	60	目標値は12年度実績値をもとに設定
	実績値	60	55	55	
	達成率		91.7%	91.7%	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名：暴力追放運動推進協議会補助事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
市内での暴力団員 (準構成員含む)の逮捕者数(人)	目標値	未設定	110	110	108	目標値は12年度実績値をもとに設定	道警本部
	実績値	108	92	98	目標レベル		
	達成率		83.6%	89.1%			
	最終目標	年度に					
市内における少年犯罪検挙補導人数(人)	目標値	未設定	60	60	60	目標値は12年度実績値をもとに設定	道警本部
	実績値	60	62	63	目標レベル		
	達成率		103.3%	105.0%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	街頭啓発の参加状況に見られるよう、毎年度開催しており良好であるが、会員の加入を増やすことが必要である。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	暴力団を根絶するためには、「暴力を許さない」という市民運動の盛り上がりが必要であることから、暴力団の減少傾向が出ていることから今後とも活動は必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	行政と市民のパートナーシップにより現状を改善する必要がある、市民活動の支援の観点から補助金の交付は将来とも必要である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	組織の強化を図りながら、今後もきめこまやかな活動を展開するなど、暴力団を撲滅する上から一定の妥当性がある。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
暴力団を根絶し、住み良いまちを築くうえからも、市民の協力により、暴力団の排除運動に貢献できた。		街頭啓発、パレード、遊技場等の巡回啓発を通じて、暴力追放を市民に浸透させることができた。		

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	地域への啓発活動をより強化するために、協会の会員数の拡大を図ることが必要。
最終評価	町内会、商店街を中心とした、きめ細かな組織強化が必要である。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
上についでの説明			

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 生活環境部市民生活課
 事業名： 暴力追放運動推進協議会補助事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	石狩市暴力追放運動推進協議会補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市暴力追放運動推進協議会会長 佐藤文政 会員 正会員12団体、特別会員11団体、賛助会員37団体(個人含む)で構成
活動(事業)目的	市内における個人、団体を問わず一切の暴力を追放し、明るい平和な街づくりをすることを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	会議費	25	25	6	6	1	1	24	24
	事業費	442	442	453	453	336	336	481	481
	事務費	62	62	74	74	66	66	70	70
	負担金	32	32	26	26	26	26	26	26
	その他							10	10
	歳出合計	561	561	559	559	429	429	611	611
歳入決算 (予算)状況	石狩市暴力追放運動推進協議会補助金	100	17.8%	100	17.9%	100	23.3%	90	14.7%
	会費	454	市の補助負担金への依存度	458	市の補助負担金への依存度	327	市の補助負担金への依存度	420	市の補助負担金への依存度
	その他	7		1		2		101	
	歳入合計	561		559		429		611	
	補助・負担対象経費の内容								
補助・負担金額の算定方法									

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
各種イベントに協力する暴力追放活動(人) 再掲	60	55	55	60
平成14年度活動(事業)実績	夏・冬の街頭啓発、パレードの開催、遊戯場等の巡回啓発、会員用ポスターの作成・配付、中学校野球大会の開催、新聞の発行			

4 特記事項

--